

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
体制整備	1	訪問支援に使用する教具教材は適切であるか。	○		利用時の特性に応じて活用している。
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	利用希望者数が増えているため、体制の調整をしている。
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		定期的に話し合いを行い、対応している。
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な面談等を行い、対応している。
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な面談等を行い、対応している。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		SVを受けながら業務改善に努めている。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		OJT及びOFF-JTにてスキルアップを図っている。
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		フォーマル/インフォーマルな評価を活用し作成している。
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定期的に話し合いを行い、対応している。
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		定期的に話し合いを行い、対応している。
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的に話し合いを行い、対応している。
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		定期的なアセスメントを行い、行動変化等の確認を行っている。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを熟読して必要な対応等を検討している。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		定期的に話し合いを行い、対応している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日々の変化を確認し、優先順位等を検討している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		話し合いを行って上でカルテや報告書作成を行っている。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の方針等に寄り添いながら一緒に対策等を検討している。
	18	毎回の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		カルテや報告書作成を行い、アセスメントを行っている。

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に話し合いを行い、対応している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児発管や担当職員が参加し、情報提供・共有している。
	21	地域の保健、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的に話し合いを行い、対応している。
	22	就園・就学時の移行の際には、保育所等や学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		担当者や就学前カンファレンス等を行い、情報提供・共有を行っている。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		OJT及びOFF-JTにてスキルアップを図っている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		担当者が参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的な面談等を行い、対応している。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		土佐市にて年2回開催されるペアレントプログラムについて情報提供している。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		担当者や事前の話し合いの場にて情報提供している。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		定期的な面談等を行い、対応している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		定期的な面談等を行い、対応している。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な面談等を行い、対応している。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保護者会はないが、必要に応じて保護者同士がつながりが持てるようにサポートしている。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった際には適宜、話し合いを行っている。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNS等を活用し、活動概要は発信している。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		情報提供書等には同意・サインをいただくようにしている。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		わかりやすい言葉を用いるなど工夫をしている。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		話し合いの場を設けるなど相談を受ける時間等の調整をしている。

訪問先施設への説明等	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		定期的に話し合いを行い、対応している。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		定期的な面談機会を設けて、必要な支援方法等について共有している。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		ご家族への同意・サインをいただいた上で書類提出を行う等対応している。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問先の方針等に寄り添いながら一緒に対策等を検討している。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		当センターのマニュアルに沿って実施している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		必要に応じて確認し、対応している。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		定期的なカンファレンス等を行い、対応している。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		各職員が順次、研修に参加しスキルアップに努めている。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		契約時に説明を行っている。